



編集兼発行所 須坂市公民館 塩川町分館
発行責任者 岡田茂樹
印刷所 佐藤印刷(株)

町勢
世帯数 1,104戸
人口男 1,358名
女 1,402名
計 2,760名
11月29日現在

退任の挨拶

分館長 岡田茂樹

公民分館長を退任するにあたり区民の皆様にご挨拶申し上げます。

一年間、皆様のご支援ご協力により何とか任期を終了できる所までまいりました。分館役員一同御礼申し上げます。令和の新年号と共に

に歩んで来た分館活動でした。新成人のお祝いから始まり、傑作、熱演の文化祭、各学習講座、スポーツ大会での好成績、運営委員の皆様との研修旅行は飯山、斑尾へ行き、交流を深めました。盆踊り子供大会では大勢の親

子連れで公会堂の前庭が一杯になりました。どの子の笑顔も輝いていました。夜店の皆さん、踊りの先生方、晴天を願った皆さんの準備してきた委員会の皆さんありがとうございました。

しかし、楽しい思い出ばかりではありません。台風19号による被害です。全国では百名近く、長野県でも五名の方が亡くなられました。謹

んでお悔やみ申し上げます。「須坂史」で読んだことがありますが、昔は、年に二度、三度と洪水の被害にあったそうです。確かに安全で暮らす事は確かです。でも予測以上の事が起こっている現状では、より一層の災害に對しての備えが必要

です。区民の皆様一年間ありがとうございました。次年度、分館長の長さんと新役員の皆様に願いを託し、任をおりたいと思ひます。

9月7日(土)午後7時から公会堂2階大広間において、講師に須坂市立博物館主任主任木真由さんをお招きし1時間ほど講演して頂きました。今回は講演内容に加味して二カ所の古墳について少し調べてみました。

日本では古墳と聞くとなんか神秘的な感じがしますが、古墳は古くからあるもので、石を積み上げて造られた石室や石棺が点在し、鏡塚1号・2号墳は径25・5m高さ3mを越える、積石塚としては東日本最大・最古級の古墳とされています。積み上げられていく石は人間の頭の大きさに揃えられていくそうです。畑に囲まれた閑静な所で駐車場もあり、一度訪れて見たいかと思いますが、二つ目に本郷大塚古墳があります。

この古墳の場所は市道松川本郷松川線(通称北信濃く道)の本郷松川

公民分館活動を振り返って

区長 原 憲一

平成から令和への移行の年も後わずかととなりました。区民の皆様には、公民分館活動ならびに区の運営に多大なご支援とご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

今年の公民分館活動は、三月十七日に行われた塩川町文化祭に始まりました。展示の部では、写真・絵画・書道の他多くの手作り個性豊かな作品の展示あり、午後の演芸の部では歌・踊り・謡曲・楽器演奏などバラエティに富んだ内容の演目を披露いただき、会場の雰囲気が大いに盛り上がりま

した。盆踊り子供大会は天候にも恵まれ大勢の皆さんの参加のもと、須坂小唄等の音曲が流れる中で賑やかな太鼓を打ち鳴らす櫓を囲んで盆踊りやふるまい酒を楽しんでいただきました。また、子供たちは、かき氷・ポップコーンを食べながら花火の抽選など普段経験のない境内のお祭りの雰囲気を楽しみ、味わってくれたのではないかと思ひます。

四月・五月・九月に実施された各種講座は、交通安全・防犯、健康、須坂の古墳など身近なテーマのお話を聞くことができました。毎年、役員中心の聴講となりますが、土曜日の行事ですので、多くの皆さんの参加をお奨めしたいと思います。

このように公民分館の皆さんには多くの行事等を企画・実施いただき、また各団体や区民の皆様には大勢のご参加、ご支援を賜わりお陰様で区内の交流の輪をより広げることができました。これらは皆様の「ご尽力の賜と、改めてお礼申し上げます。

最後に公民分館の益々のご発展と区民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

原 憲一

郷交差点北側に在り、古墳が街道を狭くしているため対向車との行き来が大変です。交通障害で有名なこの古墳は古墳時代後期(7世紀前半)中ごろと推定に築かれた、横穴石室をもつ直径15、16土盛り円形古墳です。出土品は圭頭大刀や三輪王、多くの馬具などです。豊富な副葬品が完全な状態で残された全国的にもまれで極めて重要な古墳です。平成8年に市指定文化財(史跡)に指定されました。市は重要な文化財と交通障害改善の審議をし、市教委が平成20年9月古墳の現状変更について慎重審議の結果、現状変更は適当でないことと答申されました。いまだに変更されないことから、これからは便利さを求めるのではなく史跡と付き合いつながり、後世に残すことを今回の講演資料などを見て思

今年のお悔やみ申し上げます。「須坂史」で読んだことがありますが、昔は、年に二度、三度と洪水の被害にあったそうです。確かに安全で暮らす事は確かです。でも予測以上の事が起こっている現状では、より一層の災害に對しての備えが必要

です。区民の皆様一年間ありがとうございました。次年度、分館長の長さんと新役員の皆様に願いを託し、任をおりたいと思ひます。

9月7日(土)午後7時から公会堂2階大広間において、講師に須坂市立博物館主任主任木真由さんをお招きし1時間ほど講演して頂きました。今回は講演内容に加味して二カ所の古墳について少し調べてみました。

日本では古墳と聞くとなんか神秘的な感じがしますが、古墳は古くからあるもので、石を積み上げて造られた石室や石棺が点在し、鏡塚1号・2号墳は径25・5m高さ3mを越える、積石塚としては東日本最大・最古級の古墳とされています。積み上げられていく石は人間の頭の大きさに揃えられていくそうです。畑に囲まれた閑静な所で駐車場もあり、一度訪れて見たいかと思いますが、二つ目に本郷大塚古墳があります。

この古墳の場所は市道松川本郷松川線(通称北信濃く道)の本郷松川

郷交差点北側に在り、古墳が街道を狭くしているため対向車との行き来が大変です。交通障害で有名なこの古墳は古墳時代後期(7世紀前半)中ごろと推定に築かれた、横穴石室をもつ直径15、16土盛り円形古墳です。出土品は圭頭大刀や三輪王、多くの馬具などです。豊富な副葬品が完全な状態で残された全国的にもまれで極めて重要な古墳です。平成8年に市指定文化財(史跡)に指定されました。市は重要な文化財と交通障害改善の審議をし、市教委が平成20年9月古墳の現状変更について慎重審議の結果、現状変更は適当でないことと答申されました。いまだに変更されないことから、これからは便利さを求めるのではなく史跡と付き合いつながり、後世に残すことを今回の講演資料などを見て思

原 憲一

郷交差点北側に在り、古墳が街道を狭くしているため対向車との行き来が大変です。交通障害で有名なこの古墳は古墳時代後期(7世紀前半)中ごろと推定に築かれた、横穴石室をもつ直径15、16土盛り円形古墳です。出土品は圭頭大刀や三輪王、多くの馬具などです。豊富な副葬品が完全な状態で残された全国的にもまれで極めて重要な古墳です。平成8年に市指定文化財(史跡)に指定されました。市は重要な文化財と交通障害改善の審議をし、市教委が平成20年9月古墳の現状変更について慎重審議の結果、現状変更は適当でないことと答申されました。いまだに変更されないことから、これからは便利さを求めるのではなく史跡と付き合いつながり、後世に残すことを今回の講演資料などを見て思



生涯学習講座 「古墳のはなし」
副分館長 長 和久



分館研修旅行

分館社会部 山岸 ひろみ

爽やかな秋晴れとなった十一月四日、分館役員研修旅行に行つて参りました。目的地は長野原町に建設中の八ッ場ダム。長副分館長の運転するマイクローバス

で塩川公会堂を出発。菅平を経由して、途中、婦恋村にある「愛妻の丘」へ。ここは婦恋村を愛妻家の聖地として有名にしたスポットで、毎年九月にはキャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ催しがあるそうです。叫び台やハグ台もあるのだと、カップルで訪れるのがオススメです(笑)。次に目的地で



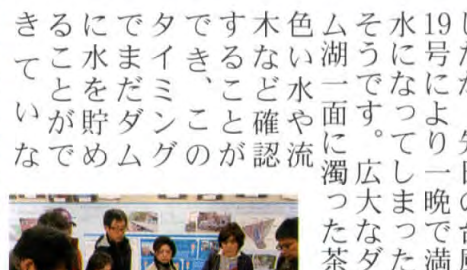
ある八ッ場ダムへ。昼食の後ガイドの方と合流し見学ツアーがスタート。資料館ではジオラマや大きな地図を用いて分かり易く説明して下さい、今に至るまで約六十年の建設の経緯



に思いを馳せることができませんでした。見放しに移動し近距離斜め前方から一人ずつお立ち台に立つて見学。壮大なダムの景色に一同圧倒されました。



神奈川県以外の関東一都五県、利根川水系の水がめとしての役割をもつこのダムも完成間近。十月一日より試験的湛水を開始し三、四か月で満水になる予定でしたが、先日の台風19号により一晩で満水になってしまったそうです。広大なダム湖一面に濁った茶色い水や流木など確認することができ、このタイミングでまだダムに水を貯めることができていな



神奈川以外関東一都五県、利根川水系の水がめとしての役割をもつこのダムも完成間近。十月一日より試験的湛水を開始し三、四か月で満水になる予定でしたが、先日の台風19号により一晩で満水になってしまったそうです。広大なダム湖一面に濁った茶色い水や流木など確認することができ、このタイミングでまだダムに水を貯めることができていな



かつたらどうなっていたのだろう...と思つたと怖くなりました。三日の塩川防災フォトロゲイニング、四日の研修旅行と二日にわたり防災を考へる良い機会となりました。企画準備運営していただいた役員の皆様、有難うございました。

楽しく体を動かそうよ大会

分館体育部 吉村 学



去る11月3日(日)に「楽しく体を動かそうよ大会」が行われました。今年には防災フォトロゲイニング大会を開催し、多くの方に参加頂きました。フォトロゲイニングとは、地図をもと

に時間内にチェックポイントを回り、得点を競うスポーツです。回る順番をチームごとに作戦を立て、チェックポイントと同じ写真を撮影します。チェックポイントに設定された数字がそのまま得点となります。2、3人ずつでチームを作り、町内28カ所のチェックポイントを巡りました。防災意識を



高めてもらおうと、避難場所に指定されている日野小学校や消火栓など、いざという時のために覚えておきたい施設や設備が設定されています。その他にコキア畑や日野小学校の水源など塩川の名所を巡ることができま



当日、朝は寒かったですが、晴天に恵まれて暖かくなると、市内を散策するには良い天候になりました。17チーム46名の方々に参加して頂きました。



競技終了後に参加した皆さんからは「たくさん歩いて疲れたけど楽しかった」と「長く住んでいるけど初めて訪れた場所もあり、新たな発見があり、とても楽しめました」となどの感想を聞くことができました。



参加して頂いた皆さん、本当にお疲れさまでした。



塩川リレー日記

こんにちは。93組の小林充代です。よろしくお願いします。この原稿依頼を受けた10月初めの頃は、違う内容で書くつもりだと思つていたの

ですが、

この度の台風災害では、近隣の地区に甚大な被害が出てしまいました。皆さん及びご親族や知人の方々はご無事だったでしょうか。という我が家も、この台風に大きな影響を受けてしまいました。響を受けてしまいました。私の実家は松代で、今回は幸いにも難を逃れましたが、主人の実家は赤沼で、私の背丈ほどの浸水被害を受けてしまいました。テレビで見ると映像そのものを目の当たりにし、自然の脅威と日常のありがたさを痛感しました。

我が家は、主人と東京で暮らす大学生の息子二人に赤沼の義父が加わり今は五人家族ですが、主人の転勤で20年前に佐久から越えてきて、塩川に居を構えました。二人とも長野市出身のため、当初は知人もいなく心細

編集後記

かつたのを思い出しますが、学校のPTA活動や、昨年は分館の役員をやらせていただいたことにより、人との繋がりが広がりました。今回の災害を通して、ご縁を感じることが多かったです。これからも人との出会いを大切にしていきたいと思つています。93組 小林 充代

社会部長 栗田光一郎